

田野双葉さんスキー全道三冠 スキー部7名が全国へ

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2025年1月27日
第55号



第77回南北海道高等学校スキー競技選手権大会（1月16、17日）



第76回北海道体育大会スキー競技会（1月19日）

令和6年全国高等学校体育大会、第77回南北海道高等学校スキー競技選手権大会と第76回北海道体育大会スキー競技会が1月16、19日、阿寒で開催された。男女共上位入賞を果たし、7名が全国切符を手にした中で、田野双葉さん（2-3）が三冠を制した。

遠征中の怪我を克服して頂点に
田野双葉さんは10月下旬から中国遠征に出発した。シーズン入りは好調だったが、中国での大会中、人とぶつかり、肩、足首、肋骨を強打する怪我をした。「回復まで3週間ほどかかり、最初の10日間は何もできず、そこから少しずつ体を動かして、トレーニングを重ねてきた」という。その地道な努力が実り、今回は高体連の北海道大会のジャイアント・スラロームとスラローム、国体の全道大会（アルペン少年女子）で優勝し、三冠を達成した。

スキー競技全道大会の結果

	氏名	南北海道	南北海道	国体予選
女子	田野双葉 (2-3)	1位	1位	1位
	石川歌葉 (2-4)	9位	7位	3位
男子	五十嵐暖 (2-4)	3位	2位	2位
	片山大斗 (3-3)	2位	3位	5位
	近藤快成 (3-2)		6位	4位
	足立大騎 (3-3)		8位	

右記6名の他に1-2鈴木瑛太くんも全国大会への出場権を得た。また、基礎スキーの1-3押川歩くん、1-4田村翔太郎くんも全道大会に出場した。

落ち着いて、攻める滑りで

田野さんは大会中、「落ち着いて滑ること、しかし、思い切って、攻めるパートで攻める」ことを心がけた。国体予選では28番目の滑走でコースは荒れており、苦手な旗門設定もあったが動じず、安定した滑りで三冠を達成した。

昨年度も回転では全国で5位に入賞しているが、「今回はもっと上を目指し、さらに大回転でも入賞を」と前向きだ。ターンのスピードを上げて、もっと真っ直ぐに滑ることができれば、上位入賞を達成できると信じている。